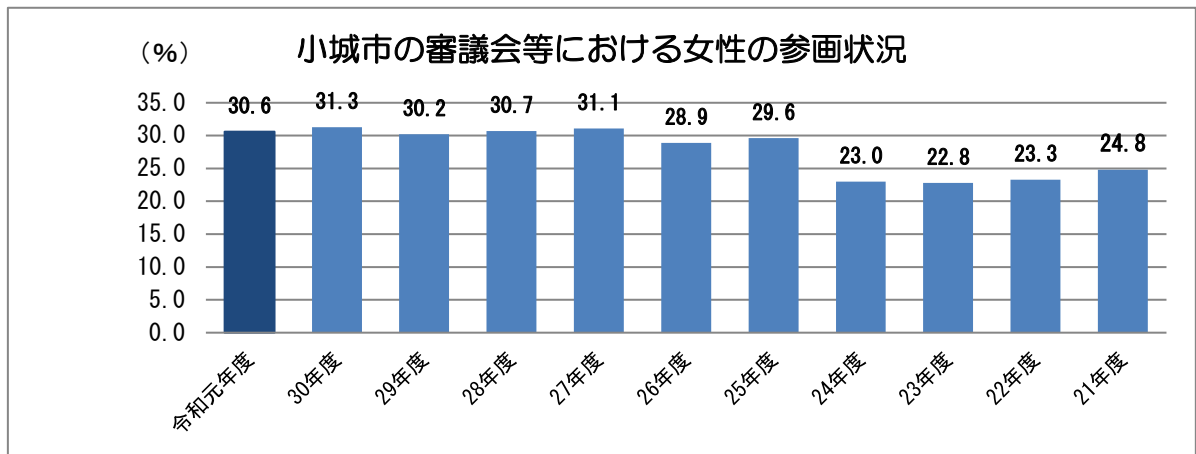


## 小城市審議会等における女性の参画状況の推移（各年度末〔3月31日〕現在）

第2次小城市男女共同参画プラン（平成29～33年度）では、「平成33年度までに審議会等委員の女性の参画率を35%以上にする」ことを目標に掲げています。

令和元年度の女性の参画率は30.6%で、対前年比-0.7%となっています。

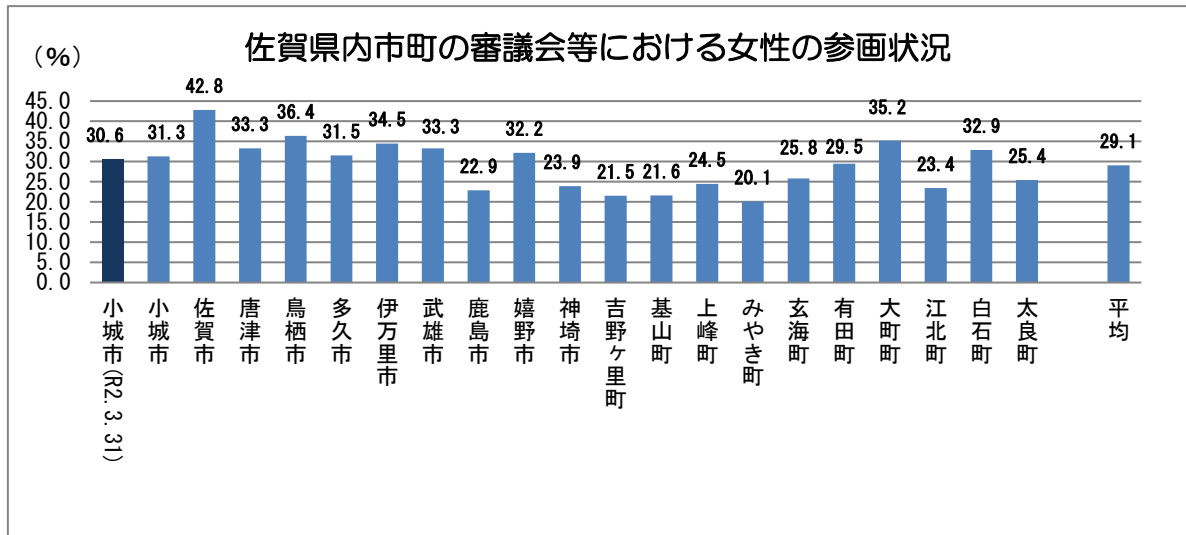
これは、女性の参画率が33.3%～60%と高い審議会4つが任期満了となったこと、女性委員のいない審議会等が8と依然と多いことが原因として考えられます。



## 佐賀県内市町の審議会等における女性の参画状況（平成31年4月1日現在）

佐賀県は「第4次佐賀県男女共同参画基本計画（2016-2020）」において、「市町の審議会等における女性委員の割合の平均を平成32年度までに30%以上にする」ことを目標に掲げています。

平成31年4月1日現在、県内20市町の審議会等における女性委員の割合の平均値は、29.1%（対前年比+2.0%）となっています。 ※県内10市の平均値は32.2%

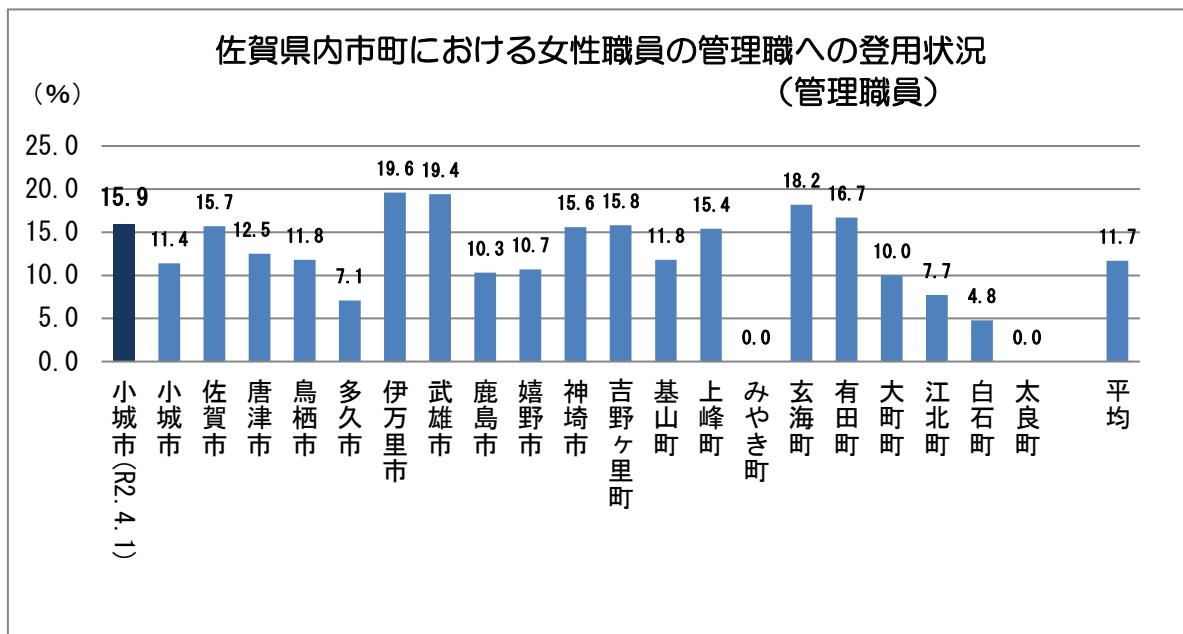


## 佐賀県内市町における女性職員の管理職への登用状況（平成31年4月1日現在）

### 【全体】

小城市における女性職員の管理職への登用状況は、令和元年度は44人中5人の11.4%でしたが、令和2年度は44人中7人の15.6%となっています。

平成31年4月1日現在、県内20市町における女性職員の管理職への登用状況の平均値は、11.7%（対前年比+1.6%）です。 ※県内10市の平均値は13.4%



### 【一般行政職のみ】

小城市における一般行政職のうち女性職員の管理職への登用状況は、令和元年度は34人中4人の11.8%でしたが、令和2年度は36人中5人の13.9%となっています。

平成31年4月1日現在、県内20市町における女性職員（うち一般行政職）の管理職への登用状況の平均値は、11.0%（対前年比+2.1%）です。 ※県内10市の平均値は11.8%

